



▲初対面 — 緊張・笑顔・真剣なまなざし

▲フィールドワーク — まずは札幌市の規模をつかむことから (さっぽろテレビ塔 展望台)

学生国際合宿セミナー

2013~夏~

広報紙

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

2013.8.12 発行

Vol.1

DAY 1

「緑あふれる公園が美しい。」

札幌は思ったより大きかった！」

りゅう せん
— 劉 倩 さん

中国・東北大学大学院日本語言語文学学科1年

12日間の暑い、熱い夏。

姉妹・友好都市青少年未来プロジェクト「学生国際合宿セミナー2013~夏~」は、前身となる「日米露学生集中講座」が1992年に開催されて以来、20余年の歴史を誇る、グローバル人材育成事業。現代の私たちを取り巻く環境は、この20年で大きく変わっています。変わらないもの — それは、未来をまっすぐに見つめる青年たちのまなざしかもしれません。

★主催★ 札幌市、(公財)札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会

★会期★ 8月11日(日)~22日(木)

★テーマ★ 国際都市の可能性 ~ 文化と観光を通じたにぎわいの創造を考える

★参加者★ 総勢35人(留学生3人を含む札幌圏の学生20人、米・韓・中・露5カ国の姉妹都市からの学生15人)

【企画/制作】公益財団法人札幌国際プラザ

札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階

☎011-211-2105 ✉sicpfexc@plaza-sapporo.or.jp

http://www.plaza-sapporo.or.jp

今夏も厳しい暑さが予想されている北海道・札幌。夏休みに入り、中心街や郊外の観光スポットは、連日大勢の観光客でにぎわっています。都心の喧騒から離れ、ここは地下鉄東豊線「学園前駅」の目の前にある北海道大学。同校の全面的な協力によりキャンパス内施設の一部を主会場として、札幌市・札幌国際プラザ・札幌姉妹都市協会が主催するユニークな夏期講座が開かれています。「文化と観光を通じたにぎわいの創造」という視点から国際都市のあり方を考える合宿形式のセミナーに参加するのは、札幌圏と札幌の姉妹・友好都市から選抜された大学生・大学院生ら35人。

ちで聴く参加学生。セミナーのコーディネーターを務めるのは北海道工業大学准教授・梶谷崇氏と北海道大学商学部教授・加藤由紀子氏のおふたり。初日の日程を終えて「導入講義を熱心に聴いているなと感じます。この調子で頑張ってほしいですねー梶谷氏・談」「(視察・体験途中ではぐれる集団が出るなど)予期せぬ事態にも動じない学生たちのたくましい姿に驚いていますー加藤氏・談」との評価。多様な価値観が息づき、「文化と観光を通じたにぎわい」が生まれている姿をまちづくりのビジョンに据える札幌市。その未来を担うであろう若者たちが、国籍や文化的背景など様々な違いを乗り越えて交わす言葉のひとつひとつに、注目が集まります。関係者の期待を背負いつつ、学生たちは真夏の12日間、何を学び、何を札幌に遺していくのでしょうか。